

総合講義Ⅲ

責任者・コーディネーター	細胞病態生物学講座 北川 隆之 教授		
担当講座・学科(分野)	細胞病態生物学講座、衛生化学講座、分子細胞薬理学講座		
対象学年	6	区分・時間数	講義 15時間
期間	後期		
単位数	1単位		

・学習方針（講義概要等）

総合講義は、6年間の薬学教育の集大成を目指して、薬剤師法に規定される「薬剤師として必要な知識及び技能」の再確認を行う。総合講義Ⅲでは、実務実習で体験学習した実践的な薬学知識及び技能を基盤として、特に基礎薬学、衛生薬学分野及び医療薬学分野の薬理学と薬物治療に関して各担当講座が分担して講義を行い、薬剤師及び薬学関連分野において必要とされる知識を整理統合する。授業内容は各講座間で効率よく配慮し、最終学年の限られた時間で演習等を有効に活用して薬学教育の総まとめとする。

・一般目標（GIO）

細胞生物学Ⅰ・Ⅱ及び病態生化学の講義で学習した事項から病態と治療薬に関連した重要な項目を復習し、演習を活用しながら知識の整理統合を図る。また、関連分野における最新の臨床診断法や治療法に関して概説し、今後の展望や問題点を整理する。

環境科学、衛生化学Ⅰ及び衛生化学Ⅱで学んだ内容の総復習を行うとともに、最近の法改正や環境基準、食事摂取基準の改訂などを整理・把握し、さらに他の専門科目で学んだ内容と関連づけることにより、衛生薬学分野全般に関する知識を確かなものとする。

薬理学分野の講義及び薬理学実習に関するこれまでに学んだ基礎知識の再確認と総まとめを行いつつ、薬理学の実践的な応用と演習を行う。さらに、臨床薬学系科目への薬理学・医薬安全性学の活用を通して、臨床の場において薬理学・医薬安全性学の知識を活用できることを目指す。

・到達目標（SBO）

1. 細胞の構造と機能について、概要を説明できる。（☆）
2. 細胞内情報伝達の役割について、概要を説明できる。（☆）
3. がん、炎症、アレルギーの病態と治療薬の概要を説明できる。（☆）
4. 生活環境や環境中の化学物質と人の健康との関わりについて、その概要を説明できる。
5. 栄養素や食品が健康に及ぼす影響の概要を説明できる。
6. 感染症や生活習慣病などの予防とその科学的根拠の概要を説明できる。
7. 薬の効くプロセスについて統合的理解を深め、その概要を説明できる。
8. 疾患の病態生理に基づいた薬物治療について、その概要を説明できる。
9. 薬物の有効性と有害作用について、疾患の薬物治療の観点からその概要を説明できる。
10. 薬の作用発現に関連する代表的過程を列挙し、薬理・生理反応を説明できる。

・講義日程

（矢）東 201 2-A 講義室、（矢）東 202 2-B 講義室

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
8/29	水	1	細胞病態生物学講座	北川 隆之 教授	細胞の構造と機能（まとめ）
9/5	水	1	細胞病態生物学講座	北川 隆之 教授	がんの病態と治療薬（☆）

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
9/12	水	1	細胞病態生物学講座	北川 隆之 教授	炎症・アレルギーと治療薬 (☆)
9/19	水	1	衛生化学講座	名取 泰博 教授	環境因子と健康
9/26	水	1	衛生化学講座	名取 泰博 教授	栄養、食品と健康
10/3	水	1	衛生化学講座	名取 泰博 教授	病態生理と疫学に基づいた疾病予防
10/10	水	1	分子細胞薬理学講座	中山 貢一 教授	薬理学の統合的理解と応用
10/17	水	1	分子細胞薬理学講座	弘瀬 雅教 教授	病態生理と疾患治療薬
10/24	水	1	分子細胞薬理学講座	弘瀬 雅教 教授	疾患治療薬の相互作用
10/31	水	1	分子細胞薬理学講座	中山 貢一 教授	薬理学の実践的応用と総合演習

・教科書・参考書等 (教：教科書 参：参考書 推：推薦図書)

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	細胞生物学	永田 和宏 他	東京化学同人 (定価 2,400 円)	2006
教	衛生薬学	佐藤 政男 他	南江堂 (定価 7,000 円)	2008
教	人体機能生理学 改訂第 5 版	杉 晴夫 他	南江堂 (定価 10,500 円)	2008
教	薬理学マニュアル 第 4 版	高柳 一成 他	南山堂 (定価 5,040 円)	2009
教	New 薬理学 改訂第 6 版	加藤 隆一 他	南江堂 (定価 9,240 円)	2008
教	New 医薬品の安全性学	吉田 武美 他	廣川書店 (定価 4,600 円)	2011
参	スタンダード薬学シリーズ 6 「薬と疾病Ⅲ 薬物治療 (2)」	日本薬学会 編	東京化学同人 (定価 4,600 円)	2005

・成績評価方法

出席、レポート、試験等から総合的に評価する。